

はじめに

日々の生活の中で出る「ごみ」について、考えたことはありますか？

私たちが衛生的で快適な生活を送るためには、排出されたごみがきちんと処理され、まちがきれいな状態に保たれている必要があります。



しかし、世界では、「ごみの収集が間に合わない」「ごみを適切に処理せずそのまま埋め立てている」「ごみが川や海に流れ出てしまう」など、様々な課題を抱えている国があります。



こうしたごみは、地球規模の問題となり、私たちの生活にまで迫ってきています。

世界の「ごみ」、身近な「ごみ」について、一緒に考えてみましょう。

清掃一組の国際協力事業

東京 23 区も、かつてはごみの問題に悩んでいましたが、区民のみなさまの協力を得て、今はきれいなまちを維持することができています。

平成 7 年頃の最終処分場



現在の最終処分場



世界は海や大気、資源などでつながっています。海外のごみ問題の解決に協力することは、わたしたちの生活環境を守ることにもつながります。

私たち東京二十三区清掃一部事務組合（清掃一組）は、23 区と共に、東京 23 区の経験やごみ処理技術を広く発信し、環境問題に直面している海外諸都市の課題解決に協力しています。



工場見学の様子

印刷物登録 令和 4 年度 第 63 号
編集発行 東京二十三区清掃一部事務組合
清掃事業国際協力室
東京都千代田区飯田橋 3-5-1
(TEL)03-6238-0572 (FAX) 03-6238-0580
<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

考えよう。 世界のごみ 身近なごみ



23

東京二十三区清掃一部事務組合
清掃事業国際協力室

世界が抱えている ごみ問題を知っていますか？

増えるごみ

経済発展などにより、ごみが急増しています。
ごみの収集が間に合っていない地域もあります。



地球温暖化

ごみを直接埋め立てたときに発生するメタンガスは、地球温暖化の原因になります。



海洋プラスチックごみ

海に大量のプラスチックごみが流れ出て、生態系に影響が出ることが心配されています。



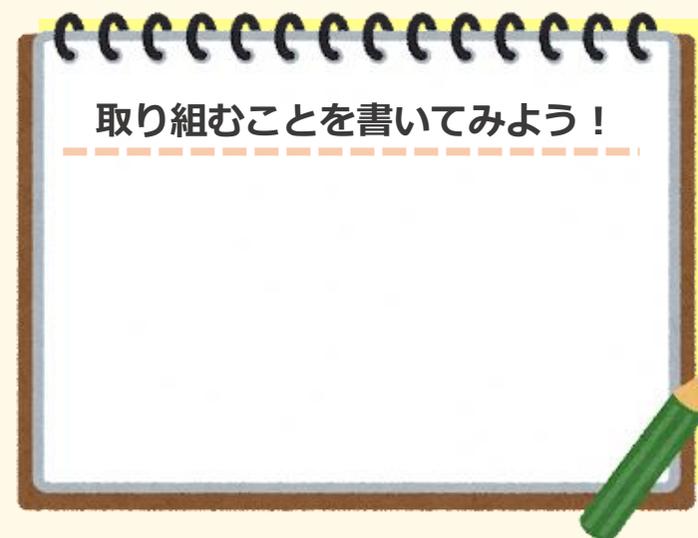
食品ロス

まだ食べられる食べ物が廃棄される一方で、世界の9人に1人が栄養不足に苦しんでいます。



わたしの!3R宣言

ごみの問題を解決するためには、一人ひとりの取組が欠かせません。自分には何ができるかを考えて、行動してみましょう！



たとえば…

- ✔ ごみと資源をきちんと分別する
- ✔ エコバッグやマイボトル、マイ箸を使う
- ✔ 使い捨てプラスチック製品の使用を控える
- ✔ 買い物前に、家にある食材をチェックする
- ✔ フードバンクを活用する
- ✔ お店では、食べきれぬ量だけ注文する



衛生的な埋立が完了した海外の最終処分場